

令和4年8月12日  
学識経験者 廣島 義和

はじめに

阿波市第2次教育振興計画は、阿波市第1次教育振興計画（後期計画）の成果並びに検証に基づき令和3年度よりスタートした。

本教育振興計画の策定の趣旨は次のとおりである。

第1次教育振興計画の学校教育では、「生きる上での基本となる食育」「幼児期からの英語教育活動」「体験活動を積極的に取り入れた教育活動」「ICTを活用した学習活動」等、社会教育では、個人の自立や一人一人が社会参加できる学習環境づくり、市民のニーズに対応した公民館事業や生涯学習事業の開催、社会団体の育成に取り組み、一定の成果を収めている。一方で、「教育の成果を次の学年や校種につなげる取組の推進」「子どもたちの主体的な学習活動の促進」「学習成果の社会での活用」などの課題が明らかになっている。さらに、少子高齢化やグローバル化、絶え間ない技術革新等社会情勢が急速に変化する中、個人の価値観やライフスタイル、働き方の多様化が進み、その上、新型コロナウイルス感染症対策である「新しい生活様式」を取り入れながらの活動が日常的となっている。このように、変化が激しく、将来の変化を予測することが困難である中、子どもたちが未来の阿波市の担い手となるためには「自らの人生を切り拓き、社会を生き抜いていく力を培う」ことが必要であり、学校、家庭、地域がそれぞれの責任や役割を明確にしながら連携し、ともに未来を担う人材を育成する教育施策が必要である。

この策定の趣旨を踏まえ、令和3年度教育委員会会議開催状況や教育委員会の所掌に係る事務事業についての点検、並びに「阿波市第2次教育振興計画（前期計画）」で策定した「5年間の主要事業」全74事業の評価について、所見を述べたい。

## 1 点検・評価について

報告書は、推進施策25（実施事業74）に対する事業評価「以下事業評価」と第2次教育振興前期計画における重要施策の業績評価指標一覧「以下評価指標一覧」から成る。推進施策毎にPDCAに基づく評価がなされている。また、そのうち前期計画の重要施策事業19についてKPI（重要業績評価指数）並びに目標値が設定されており、該当年度の実績値が記載されている。KPIが設定されていない55事業についても可能な限り目標値の設定が望ましい。

事業評価74事業のうちA評価は17事業（約23%）、B評価57事業（約77%）である。また事業の方向性は、A「さらに重点化」(2)「現状のまま継続」(15)、B「さらに重点化」(3)「現状のまま継続」(49)「見直しのうえ継続」(5)である。

以上、A評価17事業については、学校教育課の「教育内容の充実」(8)「家庭や地域との連携・協働」(2)「安全・安心な教育環境づくり」(2)、社会教育課「生涯学習推進体制の充実」(1)「生涯学習関連施設の整備充実・機能強化」(1)「生涯学習プログラムの整備・提供」(2)「文化財の保護・活用」(1)であり、学校教育、社会教育ともに成果が上がっている。

また、A評価のうち、「さらに重点化する」(2)は、学校教育課の「教職員の資質の向上」、【安全・安心な教育環境づくり】における「地域全体の連携強化」となっており、今後の方針記載の教員へのICTサポート体制の充実、教員のICT技能のさらなる向上等を工夫して、校務の情報化、効率化の一層の推進を期待する。

次に、B評価のうち、「さらに重点化する」(3)は、学校教育課で、「働き方改革の推進」「ICT教育の推進」「障害のある子どもの環境づくり」となっており、どの事業も教

育行政の重要な課題であり、多忙な状況にある教職員の勤務状態の検証を図るとともに、さらに重点化することにより、子どもたちの安全安心な豊かな教育環境の整備と教育実践が大いに期待される。

次に、B評価「見直しのうえ継続」(5)は、社会教育課の【スポーツ振興施設の体系化】における「市民の健康・体力づくり推進事業」「実施内容の定期的な見直し」、【幅広いスポーツ活動の普及促進】における「行事の見直し・改善」、「ばあわーあつぷ事業」「英会話教室の開催」であり、今後の方針に記載のとおり、コロナ禍での感染対策を講じた安全安心運営、シティマラソン開催参加者の増加、幅広い世代へのニュースポーツの普及、市民個々のニーズに合ったスポーツ提供など、市民が気軽に楽しみ、体力維持のためのスポーツができるよう期待するとともに見直し継続をお願いしたい。

ほとんどがB評価・「現状のまま継続」である。概ね成果が上がっているものと思われる。

次に、評価の方法によれば、Aは、「優れた取組が多く、十分成果が上がっている」、Bは、「優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている」となっているが、何が優れた取組なのかが不明である。実績状況に言及されていると思われるが、具体的表記箇所(優れた取組み)欄を設ける等して記述があれば更にわかり易い。

次に、評価指標一覧に関して、KPI・目標値(43)中、4が目標達成されている(約9%)。また、令和3年度が調査等の実施年度でなく実績値未記入が10存在している。

目標達成に至らない項目が多くを占めている。コロナ禍のため、事業が中止となり、十分な取組ができていない状況にあるとの理解もできるが、コロナ禍が長引くとの予想される中、感染症対策を講じた方策についての検討が必要であると思われる。方策の検証、係る予算措置等解決すべき課題は山積しているが、実効ある目標達成のため、一層のお取組をお願いしたい。

次の2提案についてご検討願いたい。

<提案1>

■総合評価の判定について、事業評価4項目の平均値を数値的目安としてはどうか。

(例)判定基準  $A \geq 3.5$ 、 $3.5 > B \geq 3$ 、 $3 > C \geq 2$ 、 $D < 2$

この基準から判定すると、「働き方改革」(2.75)「スポーツ団体・指導者の育成」

(2.75)「文化財ガイドブックの作成」(2.75)はB→C判定となろう。

「事業の評価」(あまり寄与していない)(できていない)を含む評価にB判定は見直す必要があると考える。

<提案2>

■第4章 事務事業の点検・評価結果票の総合評価の(必要性、有効性、達成度、効率性)の並びを(必要性、有効性、効率性、達成度)としてはどうか。

これは、第1章 3評価の方法 ①事業の評価(4項目・4段階)の並びとの整合性のため。

2 施策の進捗状況について

(1) 学校教育「食育を基盤にした、地・徳・体の調和の取れた生き抜く力の育成」

1-1「生きる力の育成を重視した教育内容の充実(12事業)」では、A評価(8)B評価(4)である。

教育・保育要領に基づく教育の実施は、保育所・小学校との連携、人とかかわる力の育成、遊びをとおした思考力の基礎の育成、英語指導講師・英語担当の保育教

論による英語活動など、豊かな感性を育む実践ができています。

確かな学力の育成は、また、すべての小中学校で、ALT による英語授業の実施、授業外での ALT との学校生活共有により、外国人とのコミュニケーション能力や異文化理解の向上に取り組んだ。小学校でも、英語講師による T2 指導に取り組み、英語への関心を高めた。

豊かな心の育成は、人権擁護委員とともに野菜・花栽培に取り組み、阿波市人権教育研究大会の開催、伝統文化継承として、地元連招聘による阿波踊り、市内の名所旧跡めぐりなど、郷土の文化財学習ができています。

健やかな体の育成は、毎年実施の体力向上指導員派遣事業や阿波市スポーツ推進員の活用が、コロナ禍で実施できていないが、新しい生活様式においてできる体力づくりを実施している。中学校部活動での外部コーチ配置、薬物乱用指導教室の開催など、健康や安全への配慮ができています。

教職員の資質の向上は、ICT 支援委員等の派遣、阿波市教育情報セキュリティーポリシー研修会など ICT 活用に関する教職員の資質向上に取り組んでいる。

働き方改革の推進は、全小中学校に校務支援システムを導入し、管理職等による教員の在校時間可視化を実施しているが、教職員の業務適正化を図ることが課題であり、早急な解決が望まれる。

環境教育の充実は、「新・学校版環境 ISO」を全小・中学校が取得し 6 校が継続認定を取得した。ゴミゼロ運動やエネルギーについての学習に取り組み成果が上がっている。

食育の推進は、「Awa 産 Awa 消 My メニュー」コンクール開催による給食献立採用、アエルワ食堂での献立メニューとしての提供など、食への興味を喚起した。

ICT 教育の推進は、学力向上推進講師 10 名を小学校に、2 名を学校教育課に配置、英語指導講師 5 名を小学校に配置し、学力向上を図る。タブレット、デジタル教科書、実物投影機等 ICT 機器の活用し、「楽しくわかる授業」に取り組んだ。また、ICT 支援員を各学校に派遣し教職員の ICT 活用能力の向上を図った。

読書活動の推進は、朝読、読書ボランティアによる読み聞かせの実施、ブックリストの作成による児童生徒の読書への興味関心を高めた。

就学援助の実施は、手厚い就学援助の実施し、義務教育の円滑な実施に資することができた。

キャリア教育の推進は、小学校では、目標に向かいチャレンジする精神力と行動力の育成に取り組む、児童を褒め励ます教育活動に取り組んだ。中学校では、コロナ禍のため、職場体験学習が中止となったが、「キャリア教育を支援するための講演・出前授業」等の活用、各教科の中でキャリアプランニング能力の育成を図っている。

1-2「家庭や地域との連携・協働（2事業）」では、すべて A 評価である。

学校・家庭・地域との連携した取組は、中学校美術部のやねこじき参加し地域の文化芸術の発展に寄与している。学校支援ボランティア 45 名によるゲストティチャー招聘等、地域の方々との交流し地域の教育力を活かした取組を行った。

コミュニティー・スクール制度への移行は、「学校運営協議会規則」の制定、予算措置、管理職等への制度の周知と研修会の実施している。地域に開かれた学校づくりとして、保護者、地域住民等の意向を反映した学校運営が期待される。

1-3「心と体の健康問題への対応（2事業）」では、すべて B 評価である。

適応指導教室「阿波っ子スクール」の運営は、基礎学力の補充、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによるカウンセリングの実施、地域ボランテ

ィア・大学院生ボランティア活動、不登校問題対策協議会を開催する等対応がなされている。

教職員の指導力とカウンセリング能力の向上は、幼児児童生徒への対応について言及があるが、標題の教職員の指導力向上への取組が記載されていない。今後対応されたい。

1-4「特別支援教育の充実（3事業）」すべてB評価であるが、更に重点化して取り組む方向性が1事業報告されている。

障がいのある子どもの教育環境づくりは、すべての幼・小・中で特別支援教育コーディネーター配置、加配教員の配置等支援体制の充実がなされ、個別の教育支援計画の作成による的確な教育的支援ができています。また、「切れ目のない特別支援教育～幼保小連携と保護者支援～」の教職員研修も実施され、教職員の資質向上を図っている。

相談支援体制の充実は、入園おうえんシート、入学応援シートなど乳幼児から学校卒業までの一貫した相談・支援への工夫が見られた。

海外帰国・外国人児童生徒への支援は、「帰国・外国人児童生徒トータルサポート事業」の活用による日本語教育支援を行っている。

1-5「安心・安全な教育環境づくり（3事業）」A評価（2）、B評価（1）である。

地域全体の連携強化は、通学路点検、学校・警察・地域・青少年育成センター等連携による街頭補導、スクールガードリーダーによる巡回指導が実施されている。地域の子は地域で守る、地域全体で子どもの安全確保体制へのさらなる重点化が示されており大いに期待できる。

防災教育の充実は、すべての幼・小・中学校で学校防災計画・学校防災マニュアルによる訓練を密を避けて実施、コロナ禍のため自主防災組織連合会防災訓練は中止となったが、感染症対策を実施しながら、防災等出前授業を実施している。

安全教育の充実は、警察・県土整備局・市建設課、園・学校、PTAや青少年育成センターによる通学路危険箇所合同点検51箇所実施。

1-6「小・中・高等学校の連携強化（1事業）」B評価である。

連携強化の取組は、中学校では、オープンスクールによる小中交流、中高一貫教育として、阿波西高校と市場中・阿波中間で教員の相互交流、部活動練習試合等行っている。

1-7「学校施設の整備（3事業）」すべてB評価である。

施設の長寿命化工事は、「阿波市学校施設長寿命化計画」に従い進められている。

施設バリアフリー化は、「阿波市学校施設長寿命化計画」に従い進められている。

教育機器の充実については、計画に基づき特別教室にエアコンを設置している。

(2) 生涯学習「生き生きと自己実現を図りながら社会参画する生涯学習の推進」

2-1「生涯学習推進体制の充実（3事業）」A評価（1）B評価（2）である。

講座内容の定期的な見直しは、講座終了時に、受講生対象にアンケート実施し、結果等を勘案して事業評価を加え、次年度計画策定を行っている。

関係機関との協力による事業、講座の実施は、文化協会との協力の下、文化協会会員を講師とする生涯学習講座の実施。

学習成果を発揮できる環境づくりは、ケーブルテレビでの放映を実施している。今後とも、さらに多くの発表、表現の機会を期待したい。

2-2「生涯学習関連施設の整備充実・機能強化（4事業）」A評価（1）B評価（3）となっている。

図書館機能の充実、図書選定委員会を月1回開催する等、図書館利用者、蔵書数、貸し出し冊数それぞれ目標値近くの成果を挙げている。

図書館指定管理者制度による効率的な運営は、各図書館の实地調査をし、モニタリングを実施するなど運営状況の把握に努めており、調査結果に基づきより実効ある運営を期待する。

公民館機能の強化は、市民のニーズに対応した講座などを開催し、盛況である。今後とも、さらに充実した公民館運営をお願いしたい。

図書館・公民館施設の整備は、施設・設備の充実を計画的に進めている。

2-3「生涯学習プログラムの整備・提供（4事業）」A評価（2）B評価（2）である。

生涯学習情報の提供は、広報あわ、市ケーブルTV、HP、児童対象講座は、学校を通じて行っている。今後とも更に効果的な情報提供を期待する。

各種講座の開催は、アエルワ、自然観察会、ホテルの観察会、剣山の植物観察会（天候不良のため中止）、石・野鳥の観察会、藍染体験（コロナ禍のため中止）等多岐にわたる講座が開設されている。今後とも、なお一層の効果的な運営を期待する。

学習成果の発表機会の充実、子ども茶道教室受講生の阿波市文化祭に参加予定であったが、コロナ禍のため中止、今後とも、ケーブルTV・広報あわ等積極的に活用し、学習成果の発表を工夫し、発表機会の充実をお願いしたい。

市民参画の推進は、受講生アンケートによるニーズ把握を実施している。また、講座満足度も高く、今後とも、市民参加の充実に向けて、なお一層の取組をお願いしたい。

2-4「関係団体の育成（1事業）」B評価である。

関係団体の育成は、総合型地域スポーツクラブ・スポーツ協会を支援し、各種団体の育成を図っている。スポーツ少年団スタートコーチ養成講習会はオンライン開催となっている。コロナ禍での運営となるが、工夫した運営をお願いしたい。

(3) スポーツ振興「生涯にわたりスポーツに親しむ環境づくり」

3-1「スポーツ振興施策の体系化（3事業）」すべてB評価である。

市民の健康・体力づくり推進事業は、「スポーツのまち阿波市」を目指し“市民ひとり1スポーツ”として取り組み、阿波シティマラソンは新型コロナのため中止となったが、スポーツ推進委員派遣も順調であり、幅広い世代へニュースポーツの普及を行うことになっており、期待が持てる。今後の方針は、見直しの上継続の方向である、十分検証願いたい。

実施内容の定期的な見直しは、市民ひとり1スポーツを目指し、スポーツの効用を様々な観点から考えるなど計画的に推進し、今後の方針にあるように、気軽に楽しみ、体力維持のためのスポーツ、アスリートのためのスポーツ等個々のニーズに合ったスポーツの推進を期待する。今後の方針は、見直しの上継続の方向である、十分検証願いたい。

全市的な推進組織の運営、理解促進については、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブの会員を増やすための普及のため、スポーツ推進委員の派遣等実施している。今後とも、さらに広報活動の推進を期待する。

3-2「スポーツ施設の整備充実・有効利用（1事業）」B評価である。

スポーツ施設の整備充実・有効利用は、計画的な施設整備ができています。コロナ禍で市外運動部受け入れも厳しい状況であるが、引き続き、スポーツの活性化のため、市内外交流に取り組んでほしい。

3-3「幅広いスポーツ活動の普及促進（3事業）」すべてB評価である。

スポーツ普及事業は、スポーツ協会において、連盟ごとのリーグ戦、大会を開催し、市内外交流を図った。広報誌、ケーブル TV 等多様な広報媒体を通じて普及促進に取り組んでおり、今後とも期待する。

競技力向上支援事業は、徳島駅伝の成績向上に向けた強化練習・合宿に取り組み（一部、コロナ禍で中止）、全国大会出場の財政的支援もできている。さらなる選手の発掘確保・選手層強化等一層の成績アップを期待する。

行事の見直し・改善は、阿波シティマラソンはコロナ禍で中止となったが、コース変更や感染症対策を講じるとともに、出場部門見直しやジュニア駅伝出場部門の拡充等進めており、競技人口減少の中、さらなる選手確保をお願いしたい。今後の方針は、見直しの上継続の方向である、十分検証願いたい。

3-4「スポーツ団体・指導者の育成（1事業）」B評価である。

スポーツ団体・指導者の育成は、事業の評価の有効性が「できていない」となっており、具体施策に記載の「阿波市ジュニア駅伝の開催及び各部門の見直しを行う」を具体化するなど、また、指導者の育成についても今後とも有効な方策をお願いしたい。

#### (4) 芸術・文化振興「郷土を愛する心と創造力が育つ、市民主体の文化芸術活動の促進」

4-1「芸術・文化団体の育成（2事業）」ともにB評価である。

情報の提供については、広報誌、ケーブル TV 等で実施。さらなる情報提供をお願いしたい。

指導者や文化ボランティアの確保は、文化協会加入団体を講師とした運営ができている。また、生涯学習講座修了生の指導者への活用等の仕組みづくりも期待したい。

4-2「芸術・文化の鑑賞、発表機会の充実（2事業）」すべてB評価である。

文化行事の拡充は、アエルワにおいて、文化協会との共催で阿波市文化祭を行い、芸能祭、展覧会が実施できている。

市民参画の推進では、文化協会との共催事業、生涯学習推進映画会・講演会等にて市民参画ができている。市民の参加企画をなお一層期待する。

4-3「文化財の保存・活用（4事業）」A評価（1）B評価（3）である。

文化財保護体制や調査研究体制の整備は、阿波市古墳調査事業の中で、建布都古墳発掘調査、調査結果公開として生涯学習講座・現地説明会の実施、調査報告書刊行を行った。今後とも、未指定文化財の調査研究をさらにお願いたい。

文化財の継承と活用は、文化を次世代に継承する重要な意義があり、地域と連携して、人材育成や文化財の保護・保存について協議し、財政的支援をさらに期待する。

文化財の広報活動の充実は、発掘調査成果の展示やHP等を通じて実施している。更なる広報活動に寄与されたい。

文化財ガイドブックの作成は、文化財の資料収集・整理をしており、文化財保護審議会委員とともに、詳細内容確認を行い、令和4年度刊行予定となっている。

4-4「歴史館等の整備充実・有効利用（1事業）」B評価である。

施設の整備充実と有効活用は、整備充実は計画に基づき実施し、日本遺産巡回イベントの開催、「昔のくらしの道具」展示解説を小学生対象に行うなど、有効活用に取り組んでいる。

(5) 青少年健全育成「青少年の健全な生活を守り抜く環境づくり」

5-1「青少年の健全育成の推進（4事業）」すべて B 評価である。

環境美化活動は、青少年の健全育成、非行防止等を図るため、市内のすべての小・中学校で地域・学校の実情にあった取組ができています。

講演会の実施は、青少年育成講演会実施予定がコロナ禍のため中止となったが、令和4年度実施予定となっている。感染予防対策等勘案し、進めてほしい。

地域ぐるみの健全育成運動の展開では、「少年の日」「家庭の日」の普及のため、防犯弁論大会や親子ふれあい事業等（変更し、児童クラブで実施）を計画に従い実施している。

5-2「家庭の教育の向上（5事業）」すべて B 評価である。

講演会の実施は、親子で和菓子作り教室等生涯学習講座や夏休み親子ふれあい木工教室等、コロナ禍のため中止もあるが、計画的に取り組んでいる。

正しい生活リズムの定着は、生活習慣についての実態調査を行い基本的な生活習慣の確立指導を行った。また、生活チェックで自己改善や健康教育参観日をとおして、保護者の意識を高めるなど家庭啓発を行っている。

情報提供の充実は、広報あわ、ケーブルTV、学校でのチラシ配布等を行った。

文化やスポーツの拠点づくりは、生涯学習講座をとおして実施している。

家庭教育の充実は、ブックスタート、図書館おはなし会を実施している。ボランティアの更なる確保をお願いしたい。

5-3「青少年の体験・交流活動の充実（3事業）」すべて B 評価である。

講演会等の実施は、生涯学習講座（親子講座）（一部、コロナ禍で中止を含む）の実施。

子ども体験学習活動は、親子ふれあい木工教室（コロナ禍で中止）や夏休み体験学習を行っている。

青少年の居場所づくりの推進は、勤労青少年ホーム利用等の取組がある。

5-4「青少年団体、リーダーの育成（2事業）」ともに B 評価である。

指導者養成講習の開催は、予定されていたスポーツ少年団スタートコーチ養成講習会はコロナ禍のため中止となったが、リモートでの実施等お願いしたい。

子ども会活動の充実は、阿波市内 56 団体に財政支援ができており、各団体のさらなる活性化をお願いしたい。

(6) 人権教育・国際理解「多様性をはぐくみ、互いに尊重し、つながりを実感できる社会づくり」

6-1「人権啓発事業の実施（2事業）」ともに B 評価である。

指導者の養成では、全国・四国・県人権教育研究大会（コロナ禍のため中止）へ参加する等、資質向上を図っている。具体的なさらなる指導者の養成をお願いしたい。

人権啓発事業の実施では、人権啓発講座、阿波市人権フェスティバル、人権問題講演会（コロナ禍のため中止）、市内企業職員研修会（コロナ禍のため中止）等を行っている。コロナ禍のため中止の事業があるが、リモート等感染症対策を講じた取組をお願いしたい。

6-2「ばあわーあっぷ事業（1事業）」 B 評価である。

教科学習、子ども会活動、阿波市人権フェスティバル等への参加、保護者会の開催し、指導員と児童・生徒の信頼を深めるとともに成果がみられる。今後の方針は、見直しの上継続の方向であるが、さらなる充実をお願いしたい。

6-3「国際感覚豊かな人材の育成と国際交流活動（2事業）ともにB評価である。

英会話教室の開催は、ALTによる講座（初級、中級）を市内3箇所で開催している。今後の方針は、見直しの上継続の方向である、より多くの市民が参加できるように十分検証願いたい。

国際交流の推進は、市民ニーズに応じた外国語講座の実施による国際交流活動の推進を目的としている。韓国語講座が実施されており、今後とも、外国語講座の実施やふれあいにより、市民と外国人の国際交流を一層進めてほしい。

### 3 おわりに

阿波市第2次教育振興計画（前期計画）令和3年度実施の全事業に対する評価結果について、可能な限り所見を記述した。日ごろ、多大な時間・労力を費やし熱心に教育行政に取り組まれている教育委員会を始め関係者の皆様に感謝と敬意を表します。

2021（令和3）年度は、第2次教育振興計画のスタート年である。子どもたちが楽しく、自由に、安全・安心の環境のもと、生活できるよう、「あすに向かって 人の花咲く安らぎと感動の郷土・阿波市」の実現に向け一層の取組をお願いしたい。



令和4年8月12日

学識経験者 塩田 昭治

はじめに

本報告書は、「地方行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、令和3年度に教育委員会が実施した事業についての点検・評価結果を議会に提出するとともに、市民への説明責任を果たし、教育行政のさらなる充実を図るためのものです。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、様々な社会活動が自粛や中止されている今日、感染拡大を予防する新しい生活様式が求められています。そのような中、この報告書が今後の取り組みにつながることを期待して、一市民としての目線から所見を述べさせていただきます。

#### 1. 点検・評価の方法

阿波市第2次教育振興計画（前期計画 令和3年度～令和7年度）で策定した全74事業を対象として、事業ごとに評価シートを作成し評価しています。評価シートは記載事項が1ページで作成されている形式であり、PDCAのサイクルを生かし事業を実施していることが分かります。各事業評価シートには、事業の評価（4項目、4段階）、総合評価（4段階）、事業評価（5段階）の観点に基づいた評価を行っています。

今回、新型コロナウイルス感染拡大の中、人数や実施回数等が指標になっている事業に関しては、評価が悪くなるケースが多く見られました。しかし、質が低下したり、参加者の反応が悪いわけでは無いと考えられます。今後、コロナ禍におけるPDCAサイクルの指標の在り方について考える必要があると思います。

#### 2. 主な事業

##### (1) 学校教育

学校教育関係27事業は、一定の成果を上げており、優れた取り組みが多数あると思います。

幼児教育については、阿波市独自の英語講師を生かし、幼児期からの英語に対する興味や関心を持たせる教育を行っており、将来を見据えた国際化時代に向けた教育として評価できます。今後も小学校と連携を図りながら、英語教育を推進してほしいと思います。

生きる力の育成として、学力面では学力向上推進講師や英語指導講師等による学習支援を継続的に行い、学力向上をめざしてほしいと思います。また、ICTを活用した授業やオンライン授業の推進が急務と思われます。道徳が教科化されている今日、道徳の授業時数確保に努めながら人権教育や心の教育の実践が行われています。コロナ禍にも関わらず計画通り達成できているのは評価できます。健やかな体の育成においては、学校の新しい生活様式における体力作りを計画・実践した事は素晴らしいと感じました。

食育・地産地消の推進として、青果物の地産地消率は61.2%、米100%と毎年向上しています。子どもや保護者の意識の中に食への関心が高まってきているように思えました。今後も積極的に取り組み、子どもが喜ぶ美味しい給食の提供をお願いします。

就学援助については、「子育てするなら阿波市」のキャッチフレーズのもと、就学が困難な児童生徒の保護者に対し、引き続き手厚い支援をお願いします。

家庭や地域との連携・協働は、学校支援ボランティアやゲストティーチャーの活用地域行事への参加、農業体験等の体験活動を行い、地域の方々と交流しています。

今後も地域社会との交流を充実させた取り組みをお願いします。令和4年度コミュニティ・スクール設置により、地域社会全体で学校教育の質を高めることに期待しています。

学校施設の整備について、バリアフリー化や老朽化による改修工事は、阿波市学校施設長寿命化計画に沿って実施されています。子どもが安心して、安全な学校施設で学べる環境の整備を引き続きお願いします。

## (2) 生涯学習

生涯学習関連施設の整備充実・機能強化については、地域住民の生涯学習の拠点として、公民館施設の整備が計画的に行われています。また図書館の利用者数、図書館の貸し出し冊数、図書館蔵書冊数が前年度から増加している事は評価できます。今後もPDCAサイクルの評価を活用し、充実した図書館運営をお願いします。

生涯学習プログラムの整備・提供については、新型コロナウイルス感染拡大による講座の中止は否めないが、あらゆる世代のニーズに合ったプログラムを計画してほしいと思います。人気のあるプログラムに関しては、多くの市民が受講出来る計画を立てる必要があると思います。また、各施設における新型コロナウイルス感染拡大防止策を熟慮いただき、新しい生活様式に基づいた新規プログラムを作成することにより、より多くの市民が受講出来ると思われれます。

## (3) スポーツ振興

新型コロナウイルス感染拡大により、施設の休館や利用の自粛、スポーツプログラム等の制限を受け、子ども達をはじめ市民のスポーツ活動をする機会が大きく減少しています。そこで、利用施設の感染防止策、また密集や接触する活動は感染リスクが高いことから、個人で行うスポーツ活動を中心とした取り組みが必要と思います。

また、市民のスポーツ・運動に対する芽を摘まないために、興味・関心に即対応出来る総合型地域スポーツクラブを推進する必要があると思われれます。そこで、施設の整備、備品の充実、指導者の育成等が急務と思われれます。

## (4) 芸術・文化振興

芸術・文化行事への参加は、学校や文化協会との共催事業を実施することにより、多くの団体や個人が参加できています。また芸能祭・展覧会における鑑賞は、阿波市ケーブルテレビを活用して、多くの市民が鑑賞する機会を設けた事は評価できます。今後も芸術・文化活動に対する市民ニーズを把握するとともに、優れた芸術・文化の鑑賞機会の充実をお願いします。

歴史館の入館者数が15%減少しています。今後の取り組みとして、魅力のあるイベントの開催や展示品等、事業の企画を強化する必要があると思います。

## (5) 青少年健全育成

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、警察との合同街頭補導、防犯教室、不審者対応訓練、講演会等が中止されています。しかし、早朝からの補導活動、有害図書の回収、子ども達による環境美化活動等は計画通り実施出来ています。また、勤労青少年ホーム、運動施設を中心に青少年が集まり交流しています。今後も青少年の居場所として、気軽に交流出来る施設、ニーズに合ったイベントを計画していただきたいと願います。

## (6) 人権教育・国際理解

新型コロナウイルス感染拡大のため、人権問題講演会、市内企業職員研修会は実施されていませんが、人権啓発講座（参加者 170人）、阿波市人権フェスティバル（参加者 195人）が計画通り実施出来ています。人権学習子ども会の受講

人数は少ないので、子ども達にとって魅力的な運営をお願いします。社会環境の変化に伴い多様化する人権問題に対して、正確な知識を持って正しく理解し、多様性を認め合うことができる市民の育成をお願いします。

阿波市独自の英語講師、ALT を有効に活用し、幼・小・中学校の外国語教育を推進し、英語によるコミュニケーション能力の向上がうかがえます。また、国際化に対応するためには、我が国と郷土阿波市の伝統や文化の理解を基盤として、異文化理解を推進することが重要と思います。

おわりに

新型コロナウイルス感染拡大中における教育環境の整備・充実、このことは教育行政が市民や子どもを第一に思い尽力されたことと思います。コロナ禍における各事業について、工夫や改善が短期間の中で実行できた点が挙げられます。そのことによって、子どもや市民が学びを止めることなく教育活動を継続することが出来ました。教育委員会をはじめとする教育関係者の教育に対する思いを感じました。

教育委員会各課の実施事業に、多額の予算が配当され、多岐にわたる数々の事業を実施していることから、市として教育に重きを置いていることが伺われます。新型コロナウイルス感染拡大の中、日々阿波市教育（学び合う 深め合う 高め合う）推進に向け、教育行政に取り組んでおられます教育委員会をはじめ関係者の皆様に敬意を表します。